

【令和2年度実施計画】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業（実施状況・効果検証）

No	所管課	事業名	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	総事業費				実績及び成果 （可能な限り定量的な指標で）	評価・検証・課題	
						国庫補助額	交付金 充当額	起債額	その他			
合計						499,933	9,399	469,648	0	30,285		
1	観光企画課	プレミアム宿泊券事業	①宿泊業支援、町内の消費促進 ②③ 町民向けプレミアム宿泊券事業補助金17,000千円 （5千円宿泊券×3千組、印刷費及び振込手数料2,000千円） ※8千円の宿泊券を3千円で購入 ④那智勝浦観光機構（DMO）	R2.6.11	R3.3.30	15,159		15,150		9	【宿泊食事券利用実績】 21施設 22,126,000円	【評価・検証】 新型コロナウイルスの感染拡大により、人の移動、経済循環がストップしたなか、少しでも町内の消費を喚起することができた。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 特段課題等はなかった。
2	観光企画課	事業継続支援事業	①町内に住民登録を有する個人事業者及び町内に主たる事業所を有する事業者、町内で施設運営する観光関連事業者について、国の持続化給付金又は和歌山県が実施する事業継続支援金のいずれかの給付を受けている場合、1事業者につき100千円の給付を行う。 ②③ 給付金70,000千円（100千円×700件） その他事務費92千円 口座振込手数料33千円（110円×300件） 郵便料59千円（84円×700件） ④中小企業、個人事業主等	R2.6.25	R3.3.25	67,151		66,550		601	【給付実績】 671件 67,100,000円	【評価・検証】 国や県の給付金の受給者に10万円を上乗せして給付を行い、他業種、多くの町内事業者の事業継続を下支えた。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 特段課題等はなかった。
3	観光企画課	まちなか商品券事業	①町内の消費促進を図り、地域経済を支援 ②③ まちなか商品券事業補助金156,000千円（商工会へ） 商品券10千円分×町民15,000人（10千円×15,000人） 商品券作成・換金6,000千円（15,000件） 事務費3,086千円（町役場事務費） （印刷費368千円、郵便料948千円、交付委託1,770千円） ④南紀くろしお商工会、地方公共団体	R2.4.1	R3.3.29	151,666		150,890		776	【1回目】 商品券配布実績 43,371,000円（@3,000円×14,457人） 商品券利用実績 43,044,000円（99.25%） 【2回目】 商品券配布実績 101,773,000円（@7,000円×14,539人） 商品券利用実績 101,022,000円（99.26%）	【評価・検証】 町民に町内で使える商品券1万円分を2回に分けて配付し、町内で使ってもらうことで、町内の消費喚起、町内事業者の支援に加え、町民の支援にも繋げるものとした。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 特段課題等はなかった。
4	総務課	防災活動支援協力金事業	①災害時の密集解消を避けるべく、宿泊施設等と連携し、緊急時の避難場所として利用 ②宿泊施設への協力金3,000千円 ③宿泊者1人につき、5千円の協力金を宿泊施設へ支払う（5千円×600人） ④宿泊施設等	R2.6.25	R2.12.31	425		425		0	避難所での三密対策として、町内の宿泊施設と「避難所としての宿泊施設の使用に関する協定書」を締結、1人1日5,000円の費用を負担し、台風・大雨等による避難発令を行った際に、協定施設を避難所として使用。 令和2年10月9日～10日にかけて接近した台風14号に際し使用、延べ70名の避難者が使用した。	【評価・検証】 宿泊施設を避難所として活用することで、全避難者の内、6割の方が宿泊施設に分散避難を行うことができた。 分散避難を行うことにより、感染者が発生した案件は確認できなかった。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 引き続き感染防止対策が必要と考えられる。
5	福祉課	手づくりマスク製作事業	①- ②- ③手づくりマスクの製作業務委託1,200千円、郵便料70千円 ④町内の福祉施設	R2.6.10	R3.3.31	1,241		1,174		67	布マスク製作業務委託 1,200,000円 事務費（郵便料） 41,433円 合計 1,241,433円 新型コロナウイルス感染症の影響により作業所の請負作業が減少したため、作業所支援を目的に布マスク製作を2つの作業所に委託した。製作された4,000枚の布マスクは困窮世帯や高齢者世帯などに配布した。	【評価・検証】 2つの作業所に委託したが、それぞれの作業所から、製作による収入を工賃に反映できたとの意見があり一定の救済効果はあったと考える。 【課題】 製作の工程はミシンを使うため、作業所によっては対応できない場合もあり、事業内容に工夫が必要だった。

No	所管課	事業名	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費				実績及び成果 (可能な限り定量的な指標で)	評価・検証・課題	
						国庫補助額	交付金 充当額	起債額	その他			
合 計						499,933	9,399	469,648	0	30,285		
6	総務課	防災活動支援事業	①- ②- ③感染防止に係る避難所用資機材の購入費1,850千円 マスク170千円 (3,000枚) 消毒液30千円 (10千円×3個) パーテーション1,050千円 (70千円×15セット) 窓口用パーテーション材料費100千円 体温計330千円 (15千円×22個) テント180千円 (18千円×10個) ④地方公共団体	R2.4.23	R3.3.2	1,789		1,789		0	マスク 3,000枚 消毒液 3個 パーテーション 15セット 窓口用パーテーション材料費 55千円 体温計 22個 テント 10個	【評価・検証】 町内の各施設へマスク、パーテーション、消毒液等の配備を行い、実際の避難所運営においても感染者等はなかった。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 特段課題等はなかった。
7	福祉課	子育て世帯応援給付金事業	①高校生及び大学生等の保護者に対し、給付金を支給、子育て世帯の経済支援を行う。 ②③ 給付金11,800千円 (280人×10千円、大学生等300人×30千円) その他事務費554千円 (印刷製本費24千円、郵便料147千円、振込手数料383千円) ④子育て世帯	R2.7.1	R3.1.15	9,856		9,856		0	国の「子育て世帯への臨時特別給付金」の支給対象外となった高校2～3年生の児童や大学等に通う本町出身の学生等の保護者へ支給 (1人当たり：高校生等1万円、大学生等3万円) 【給付実績】 504名 9,800,000円 高校生等 230名 児童手当特例給付対象者 36名 大学生等 238名 事務費 (印刷費、郵便料) 56,450円 合計 9,856,450円	【評価・検証】 国の「子育て世帯への臨時特別給付金」の支給対象となった世帯と同様に支援を行うことで子育て世帯全体への支援を行き渡らすことができた。 【課題】 申請を要する大学生等は、回覧やホームページでの広報のため、支給漏れの対象者がいる可能性がある。
8	教育委員会	給食費無料化事業	①一定期間、小中学校の給食費を無料化することで、子育て世帯の経済支援を行う。 ②③ 夏季休業中における給食費の無料化に対する補助金4,365千円 (小中学校5千円×873名) ④小中学校	R2.7.17	R3.1.21	4,365		4,365		0	家計負担の軽減率100%	【評価・検証】 給食材料が高騰するなか、給食費を値上げすることなく、安心安全な給食を維持することができた。 家計負担の軽減 4,365千円 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 特段課題等はなかった。
9	観光企画課	観光施設における感染予防事業	①町内の主要観光拠点における警備員の増員を行い、人員整理、消毒業務を実施することにより、感染防止を図る。 ②③海開きシーズン期間中における警備業務委託料1,470千円 ④地方公共団体	R2.7.8	R2.8.23	1,470		1,470		0	観光拠点 (海水浴場) での新型コロナウイルス感染拡大を防ぐことができた。 クラスター発生件数 0件	【効果・検証】 新型コロナウイルス感染対策として、2カ所の海水浴場開設期間中、係員を増員して三密の回避、手指消毒の徹底、脱衣場などの施設の消毒作業を実施。結果として海水浴場でのクラスターを防ぐことができた。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 特段課題等はなかった。
10	観光企画課	緊急経済対策事業	①緊急経済対策として、観光バスへの助成事業、旅行者へ宿泊クーポン、町内で使用できる商品券の配布を行う。 ②③那智勝浦観光機構 (DMO) 補助金 61,679千円 以下、内訳 観光バス助成 (小計3,122千円) 50千円×59台・30千円×5台 宿泊クーポン (小計33,600千円) 3千円、6千円、9千円×最大11,200組 旅行者用商品券 (小計13,761千円) 3千円×4,587組 その他事務費 (小計11,196千円) クーポン手数料3,696千円、旅行会社企画料6,600千円、振込手数料及び印刷製本費900千円 ④那智勝浦観光機構 (DMO)	R2.5.8	R4.3.18	56,854		53,000		3,854	【事業実施効果】 宿泊クーポン助成 クーポン発行枚数 3,899枚 述べ人泊数 9,232人 宿泊額 116,414,622円 商品券発行額 11,697,000円 観光バス助成 バス誘致台数・人数 68台・1,982名	【効果・検証】 新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済対策として実施。町に外からのお客様を呼び込み、宿泊や飲食、土産物購入など地域にお金が循環する仕組みを構築し、地域経済の一助とした。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 令和2年度は、緊急事態宣言の発令が数回あったため、事業実施の判断が難しくなった。事業を実施しても途中で中止したこともあり、新型コロナウイルスの感染拡大に大きく左右された事業だった。

No	所管課	事業名	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費				実績及び成果 (可能な限り定量的な指標で)	評価・検証・課題	
						国庫補助額	交付金 充当額	起債額	その他			
合 計						499,933	9,399	469,648	0	30,285		
11	消防本部	救急業務感染防止対策事業	①救急業務での感染リスクを軽減するため、感染防止衣及び感染防止設備を整えた救急車両、救急用資機材を購入し、受入体制を強化する。 ②③ 感染防止衣2,230千円 (55.75千円×40着) 救急車両及び装備一式36,255千円 救急用感染資機材687千円 ④地方公共団体	R2.7.21	R3.12.24	35,277		35,000		277	新型コロナウイルス感染症陽性者及び疑いを含む救急搬送件数 240件 購入した救急車出場件数 1,143件	【評価・検証】 感染防止衣・救急用感染防止資機材については、事業を開始した令和2年7月当時、入手困難であり価格の高騰していた感染防止衣・救急用感染資機材を購入できたことにより、救急隊員の感染防止対策を講じて現場活動に専念できる環境や安定的な受入体制を整えることができた。 救急車については、車内のパーティション化、搬送用アイソレータ等、感染防止設備を整えた救急車の整備により、感染症に対応した救急搬送受入体制を整えることができた。 結果として、当消防本部職員において、救急業務に従事して感染したと思われるケースは出ていない。以上のことから、事業目的に対する効果は十分得られたと考えられる。 【課題】 引き続き、感染リスクを軽減させるため、新型コロナウイルス感染症等の感染症対策は必要と考えられる。
12	観光企画課	観光業関係従業員研修事業	①コロナ感染症の影響で営業自粛している観光業関係従業員を対象に、地元魅力発見及びスキルアップ研修等を実施することにより、町内の観光力の向上を図る。 ②③研修実施に関する補助金200千円 ④那智勝浦観光機構 (DMO)	R2.6.11	R3.3.30	149		149		0	バリアフリーコミュニケーション研修 開催日 R3.2.26 参加者 10名 少人数ワークショップ形式	【評価・検証】 休館、休業などにより時間ができた町内観光事業従事者を対象に受け入れ環境整備の一環として実施。 多様性の理解に向け、障害のある方の受け入れに関してできることを考える機会とした。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 特段課題等はなかった。
13	総務課	避難所環境整備事業	①コロナ禍における避難所運営設備を整えることで、感染リスクを軽減する。また、コロナウイルス感染者の対応として、避難所に隔離用の別室 (換気設備一式を配備) を確保するため、非常時にスムーズな電力供給を行える大型の非常用電源車両を購入する。 ②③マスク5,000千円、備蓄倉庫6,000千円、スポットエアコン11,792千円、コロナ有症状者の輸送車3,874千円、パーティション用品400千円、非常用電源PHV車4,273千円、避難所用トイレセット5,005千円、アルミマット・毛布2,585千円、ポップアップテント9,845千円、電気設備増設改修工事1,000千円、発電機5,280千円 ④地方公共団体	R2.10.5	R4.3.1	40,187		39,682		505	令和2年度においては、大雨台風により延べ4回の警報発令及び1回の土砂災害警戒情報が発表され避難発令を行った。 避難人数は延べ110人、指定避難所8箇所には40人、宿泊施設には70人が避難した。	【評価・検証】 各指定避難所に感染症対策備品等を配備し、感染対策を行った。また、発熱者等を隔離するスペース等を確保することが出来た。 避難所における感染防止対策を講じたことにより、感染者が発生した案件は確認できなかった。 事業目的に対する効果は十分得られたと考えられる。 【課題】 引き続き感染防止対策が必要と考えられる。
14	福祉課	福祉施設換気機能改修事業	①町が管理する高齢者福祉施設等において、換気機能改修工事及び抗菌改修工事を行うことにより、感染防止を図る。 ②③網戸新設工事費 町内3施設2,168千円、除菌清掃委託980千円、抗菌加工改修工事8,600千円 ④福祉施設3か所	R2.10.1	R3.3.2	10,006		8,446		1,560	福祉健康センター除菌加工改修工事 大会議室タイルカーペット張替 2,035,440円 福祉健康センター除菌清掃業務委託 訓練室、更衣室他除菌 239,351円 福祉健康センター排煙窓ハンドルボックス交換、網戸新設、張替 1,372,920円 地域改善機能回復訓練センター除菌加工改修工事 訓練室、浴室天井材の除菌加工 5,853,760円 地域改善機能回復訓練センター除菌清掃業務委託 大会議室他除菌 289,144円 町民センター網戸新設・張替 215,600円 合計 10,006,215円	【評価・検証】 コロナ感染者が増加傾向にある中、除菌加工、除菌清掃、換気等の対策が実施でき、より安全に施設利用ができた。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 予算の範囲内で、感染対策ができたが、日常的な施設運営の中での継続的な感染対策がさらに必要となる。
15	福祉課	感染拡大防止事業	①コロナ禍における発熱外来・集団予防接種体制の整備をすすめることで、感染防止を図る。また、同時にコロナ感染症に係る ②③ 発熱外来・集団予防接種用備品14,366千円 防護服セット9,900千円 (33千円×300セット)、非接触型温度計136千円 (17千円×8台)、消毒マット等763千円、消毒液及び清掃用具524千円、注射針セット440千円 (2,200円×200セット)、体温計60千円 (3千円×20本)、マスク2,140千円、コロナ対策高齢者向けチラシ8千円、コロナ啓発冊子15千円、広報紙 (おうちえ記事) 3か月分380千円 ④地方公共団体	R2.5.22	R3.3.31	7,653		7,653		0	消耗品費 7,398,951円 防護服セット等 6,725,922円 マスク 570,240円 消毒液等 102,789円 印刷製本費 301,988円 合計 7,700,939円	【評価・検証】 コロナ禍における集団予防接種において、防護服やマスク、消毒等の感染対策を実施し感染拡大防止に一定の効果があったと考える。単価が高く補助金対応が必要。 【課題】 数が限られるため感染状況が拡大している期間のみ防護服等を使用し、入り口で阻止する事に尽力して対応した。また、防護服やグローブ等の購入の際は、品切れ状況が続き、普段からの備蓄が重要だと考える。

No	所管課	事業名	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費					実績及び成果 (可能な限り定量的な指標で)	評価・検証・課題
						国庫補助額	交付金 充当額	起債額	その他			
合 計						499,933	9,399	469,648	0	30,285		
16	観光企画課	非接触型決済普及促進事業	①非接触型決済でのポイント還元事業を行うことで、町内のキャッシュレス推進を図るとともに、感染拡大防止につなげる。 ②③非接触型決済推進事業委託料22,800千円 ④町内店舗利用者	R2.12.4	R4.1.20	11,336		10,000		1,336	【キャンペーン実施月とその前月との比較】 ユーザー数 40%増 一人当たり利用回数 36%増 町民の利用者数 62%増 町外の利用者数 36%増	【効果・検証】 小規模事業者の消費喚起と接触を伴わないキャッシュレスの普及推進を目的に実施。観光客の利便性向上にも資する事業。一定程度利用者の増加に繋がり、事業者も導入の必要性の認識につながった。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 本町では高齢化率が高く、利用者側、事業者側ともに高齢者には理解が進まず、活用、導入が進まない側面もある。
17	教育委員会	修学旅行キャンセル料等補助事業	①小中学生の修学旅行中止に伴うキャンセル料の補助を行うことで、子育て世帯への経済支援を行う。 ②③キャンセル料補助金3,903千円 ④子育て世帯	R2.12.16	R2.12.25	49		49		0	延期等の対応が必要となったが、中止することなく実施できたため、実績は1件となった。	【評価・検証】 事業を行ったことにより、学校・保護者は安心して対応することができた。 【課題】 修学旅行の実施を例年より早期に予定することにより、延期となった場合でも年度内に実施できるようにするなど、検討が必要。
18	福祉課	フレイル健診推進事業	①また、自宅で過ごす高齢者のフレイル予防を進める資機材の購入により、高齢者の体力づくりを支え、コロナ感染症における免疫力の向上を図る。 ②③フレイル健診資機材1,360千円 ④町役場	R2.10.5	R2.11.12	1,354		1,354		0	運動機能分析装置 1台 467,500円 体組成計 1台 660,000円 パソコン一式 198,330円 モバイルプリンター 1個 29,150円 合計 1,354,980円	【評価・検証】 フレイル予防教室や通いの場での体力測定会に使用。体力測定会には37名が参加。 自身の筋肉量などを詳しく知ることができ、参加者の反応も良かった。これからの介護予防を考えるいい機会となった。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 測定後、専門職による説明が必須となり、1人あたりに時間を要するため、参加者を増やすと専門職の人員が足りなくなる。 対応としては小規模な測定会等の回数を増やして行うかなど、協議が必要となる。
19	教育委員会	成人収入支援事業	①成人を迎える世代の経済支援として、商品券の配布を行う。 ②③商品券2,070千円 (10千円×207人) ④成人式対象者	R2.11.16	R2.12.11	1,430		1,430		0	事業実施により、成人を迎える対象者に対し経済支援を行えた。 経済支援効果 100%	【評価・検証】 人生の節目となる成人に対し商品券の配布を行ったことにより、対象者に対し祝福とともに経済的な支援として効果があった。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 特設課題等はなかった。
20	教育委員会	GIGAスクール端末導入事業	①国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現 ②児童生徒数1/3整備分、初期設定・保守委託料・周辺機器 ③ 3人に1台分のうち未整備分のPC端末13,545千円 (単価45千円×301台) 初期設定・保守委託料10,031千円 周辺機器計31,042千円 (大型モニター330千円×49クラス分・充電キャビネット200千円×23台・WiFiルーター7千円×138人・タッチペン3千円×902人、電子教材6,600千円) ④町内小中学校	R2.9.18	R4.3.31	42,897		38,000		4,897	国が進めるGIGAスクール構想に沿って必要な整備を行うことができた。 児童用1人1台PCの整理率 100% 普通教室の電子黒板整備率 100%	【評価・検証】 国が進めるGIGAスクール構想に沿って必要な整備を行うことができた。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 今後、教員の指導力向上の研修等により整備した機器等をより効果的に活用できるよう取組みを進める必要がある。

No	所管課	事業名	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費				実績及び成果 (可能な限り定量的な指標で)	評価・検証・課題	
						国庫補助額	交付金 充当額	起債額	その他			
合 計						499,933	9,399	469,648	0	30,285		
21	総務課 福祉課 建設課	公共施設における感染対策事業	①町内の公共施設における感染防止策を講じることにより、感染拡大を防ぐ。 ②③ 公園手洗い場設置工事600千円、手洗付き洋式トイレへの改修工事1,800千円、空気清浄機・オゾン発生器4,000千円 (20台)、滅菌ロッカー100千円、パーテーション350千円、自動水栓への改修工事3,000千円 (300千円×10箇所) ④町内の公共施設	R2.9.1	R3.3.31	4,766		4,766		0	【総務課】 セルフストップ水栓 15基 【福祉課】 備品購入費 819,250円 低濃度オゾン発生装置2台 198,000円 空気清浄機5台 389,950円 パーテーション5台 225,000円 【建設課】 町内公園 (6か所) 手洗い場の水栓取替	【評価・検証】 水栓取替を行った結果、感染対策について安全に使用できるため、保護者等からの満足度が高い。 【課題】 特段課題等はなかった。
22	教育委員会	図書館パワーアップ事業	①在宅で過ごす時間を有意義にし、外出自粛につなげるため、図書館の蔵書を増やし、読書環境の充実を図る。 ②③図書を購入1,475千円、視聴覚備品1,065千円 ④図書館	R3.1.26	R3.3.30	2,536		2,536		0	図書の購入 1,938,147円 視聴覚備品 601,824円	【評価・検証】 所蔵が少なかった分野の図書や視聴覚備品の充実に努めることで、利用者の満足度を得ることができたり、図書館の利用の促進につながった。 新型コロナウイルス感染防止のための外出自粛中に、図書館を利用していただくことで事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 特段課題等はなかった。
23	教育委員会	学校保健特別対策事業費補助金	(学校保健特別対策事業) ①学校内での感染を防止するため、感染症対策備品、消耗器材等の整備をおこなう。 ②③感染防止消耗器材・備品10,000千円 ④各学校	R2.9.30	R3.3.31	9,970	5,000	4,970		5,000	事業実施により新型コロナ感染症対策を実施したなかで、学校運営を継続できた。 十分な感染症対策ができたことにより、保護者の安心にもつながった。 クラスター件数 0件	【評価・検証】 事業実施により新型コロナ感染症対策を実施したなかで、学校運営を継続できた。 十分な感染症対策ができたことにより、保護者の安心にもつながった。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 今後も継続して一定程度の感染症対策が必要になる。
24	教育委員会	学校保健特別対策事業費補助金	(学校保健特別対策事業) ①学校内での感染を防止するため、感染症対策備品、消耗器材等の整備をおこなう。(3次補正分) ②③感染防止消耗器材・備品8,000千円 ④各学校	R3.3.1	R4.3.31	8,928	4,399	1,500		7,428	事業実施により新型コロナ感染症対策を実施したなかで、学校運営を継続できた。 十分な感染症対策ができたことにより、保護者の安心にもつながった。 クラスター件数 0件	【評価・検証】 事業実施により新型コロナ感染症対策を実施したなかで、学校運営を継続できた。 十分な感染症対策ができたことにより、保護者の安心にもつながった。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 今後も継続して一定程度の感染症対策が必要になる。
25	教育委員会	学校感染症対策事業	①学校内での感染を防止するため、感染症対策備品の整備をおこなう。また、特別教室等の空調設備を整えることにより、分散授業環境を整える。 ②③空気清浄機5,850千円、空調整備6,000千円 ④各学校	R3.2.18	R3.6.22	10,675		7,000		3,675	事業により、児童生徒が普段使用する教室に空調を整備することができた。 整備により、十分な換気のうえ学校運営が必要ななか、児童生徒の体調を維持しながら、運営することができた。 クラスター件数 0件	【評価・検証】 事業により、児童生徒が普段使用する教室に空調を整備することができた。 整備により、十分な換気のうえ学校運営が必要ななか、児童生徒の体調を維持しながら、運営することができた。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 今後も継続して一定程度の感染症対策が必要になる。 十分な換気が必要であることから、ランニングコストが高くなる。

No	所管課	事業名	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費				実績及び成果 (可能な限り定量的な指標で)	評価・検証・課題	
						国庫補助額	交付金 充当額	起債額	その他			
合 計						499,933	9,399	469,648	0	30,285		
26	観光企画課	まぐろ・くじら満喫クーポン事業	①①緊急経済対策として、町内のまぐろ・くじらを扱う飲食店で使用できるクーポンの配布を行う。 ②③クーポン券500円×6000件 ④まぐろ・くじら満喫体験フェスタ実行委員会	R3.2.1	R3.3.26	2,744		2,444		300	町内の経済支援額 2,444,000円 (@500円×4,888枚)	【効果・検証】 観光庁の補助を受け実施した事業に上乗せして実施。町内の経済支援として町内小売店で使えるクーポンを作成、配付。観光庁補助金も併せて多くの方に活用いただき、地元小規模店舗の下支えにもつなげた。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 特段課題等はなかった。